

Proud of the Ultimate Sport

月刊タッチダウン2月号 通巻511号 平成24年1月1日発行(毎月1回1日発行)

# Touchdown

No.511

February, 2012

# 蒼き甲子園

関学ファイターズの“不死鳥封じ”戦略

2012.1.3

日本選手権第65回ライスボウル展望

オービックシーガルズ

連覇達成の鍵・WR木下の覚醒

## 第2回東北学生アメリカンフットボール南北オールスターゲーム HALEO SENDAI BOWL 開催



MVPを受賞した南東北RB35青木



12回97ヤードを走った北東北RB33吉岡(岩手大)



関東学生リーグから北東北に参加した学五大WR26佐々木



日本代表の森清之HCは北東北選抜の練習から参加しアドバイスを送った



12月11日の南東北の練習で南東北選抜の選手たちにアドバイスをするバナソニックDB今西

今年で二回目の開催となったハレオ・センダイボウル。東北学生アメリカンフットボール連盟所属の大学チームを南地区と北地区に分け、各大学チームから選抜された精鋭選手たちが熱い戦いを繰り広げた。

今回はXリーグおよび関東学生連盟の協力の下、Xリーグからはコーチおよびプレーヤーズコーチを、関東学生連盟からは東北出身の5名の選手がプレーヤー参加した。

南東北オールスターチームBLAZE(ブレイズ)は試合の一週間前に行われた練習から日本代表・板井征人攻撃コーチ(関大HC)、DB今西亮平(バナソニック)をはじめ、特別招待コーチの指導を受け、大会二連覇を狙った。対する北東北オールスターチー

ムAVALANCHE(アバランチ)は、日本代表・森清之HC(鹿島HC)が練習にアドバイスを送ったほか、関東学生アメリカンフットボール連盟所属の5選手が特別参加。更に強化されたメンバーで南東北ブレイズに勝負を挑んだ。

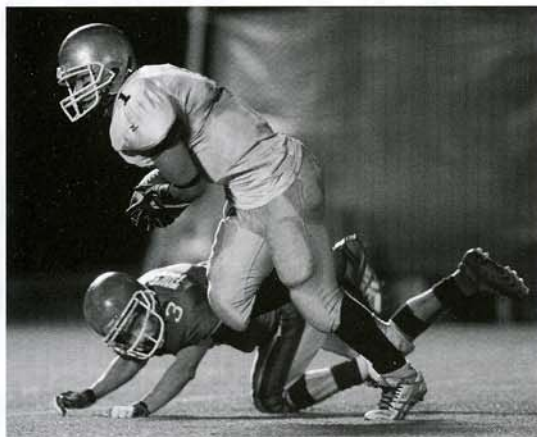
試合は1Q、北東北アバランチQB#8荻野谷(北里)からWR駒林(岩手大)へのTDパスで先制。K江口(弘前大)のキックも決まり7対0とリード。南東北ブレイズはRB青木(東北学院大)のTDランで反撃。しかし、キックが外れて1点のリードで2Qに突入。北東北アバランチはK江口のFGで加点。

南東北ブレイズはQB和田(東北学院)か

らWR秋田(東北大)へのロングパスでリズムに乗り、ランでじわじわと前進。最後はRB加藤(東北学院)がエンドゾーンにねじ込み、逆転TD。2ポイントコンバージョンは失敗したものの12対10の南東北リードで前半を折り返した。

後半に入っても南東北ブレイズの勢いは止まらず、RB加藤のTDラン、K竹村(東北学院)のTFPのキックで加点。WR佐藤(東北学院)のTDで加点。4Qにも南東北RB平山(4年)がTDを決めると、QB溝口(東北大)のQBランでさらに加点。38対10で南東北が連覇を達成した。MVPは16回174ヤード1TDを挙げた南東北RB青木秀憲(東北学院)が受賞した。

## 医科歯科リーグ最終節 東京慈恵会医科大が2年振り制覇



残り4秒で逆転TDパスを捕球した東京慈恵会医科大主将WR/DB/K1樋口陽大(4年)

関東大学医科歯科1部リーグの最終戦が12月4日、アミノバイタルフィールドで行われた。医科歯科2011年シーズンの最終戦。東京大学医学部と東京慈恵会医科大の対戦は、リーグ優勝を懸けた一戦となったが、終了4秒前に逆転TDパスを決めた慈恵会が16対14の劇的逆転勝利で、2年ぶりに王座奪還を遂げた。

07年から3連覇を遂げた慈恵大だったが、昨年は東大医学部に1TD差で敗れ4連覇を逃した。09、10年の対戦はいずれも1TD差という拮抗した試合を繰り広げてきた

が、今季も終了間際まで緊迫した好ゲームだった。

先手をとったのは東大医。開始1分59秒にQB須山孟(4年)のパスを捕球したTE大本貴士(5年)がラン・アフター・キャッチでTD。慈恵会は最初の攻撃でファンブル。東大医はこれで得た攻撃を7分30秒にQB須山からWR高橋龍玄(5年)へのTDパスで加点。

慈恵会の反撃は2Q中盤から。DB井出太郎(1年)のファンブルリカバーで得た攻撃を主将FB樋口陽大(4年)

が中央のランでTD。さらに、後半に入るとQB合田篤史(5年)キープ、FB樋口のダイブ、TB池田和也(6年)へのピッチでボールコントロールを展開。4QにK兼任の樋口のFGで4点差に迫った。

そして残り1分ほどから得た攻撃機会。残り時間4秒となったところでQB合田からのパスにWR/FB樋口が飛びつき、体勢を立て直してエンドゾーンに駆け込んだ。「最後はハドルの中で『自分にパスを下さい』といいました」と、決勝TDレシーブをした樋口は、自らのTDで昨年の雪辱を果たした



MVP受賞の東京慈恵会医科大QB/DB5合田篤史(5年)



東京大医学部QB須山孟(4年)

ことに笑顔を見せた。

MVPはオプションやスクランブルから好走し、決勝TDパスを決めた慈恵会QB合田が受賞した。

医科歯科リーグは1976年に医学部、歯学部のチームが大量に加盟したのを機に発足した学部(学群)別リーグ。選手は6回の選手登録が可能。医学部、歯学部以外の医療系学部の学生は全体の選手数の40パーセント以内で登録可能、試合は1Q10分制で行われるなど、学業上の特殊事情により4年制とは別のリーグ編成で活動している。